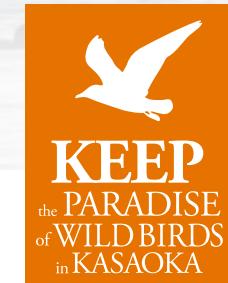




スズガモ数千羽の群れ



笠岡干拓の野鳥を守ろう！

笠岡市が誇る、日本第2位の広さを持つ笠岡湾干拓地。その南端に位置する寺間遊水池に水上太陽光発電パネルを設置する計画が持ち上がっています。貴重な野鳥の楽園を守るために、笠岡湾干拓地の素晴らしさを知ってほしい。



笠岡が誇る野鳥の楽園を守るために様々な活動をしています。ホームページをご覧ください。



笠岡野鳥の会 事務局

〒714-0057 笠岡市金浦1625 Tel 0865-66-2281



日本野鳥の会 岡山県支部

〒704-8182 岡山市東区広谷 458-1



野鳥の楽園・笠岡干拓地

案外知られていないようですが笠岡干拓地は全国でも有数の鳥類生息地です。現在183種類もの野鳥が確認されていて、その中には国の天然記念物種や絶滅危惧種なども多数含まれています。岡山県内で確認されている398種のうち、46%の野鳥を見る事ができる笠岡干拓地は、多くのバードウォッチャーが注目する、日本屈指の野鳥の楽園なのです。

寺間遊水池は県下1位の羽数

数十種類の水鳥が大きな群れを作り冬を過ごし、春と秋にはシギ・チドリ類等の渡り鳥がこの池を中継地として羽を休めに集まるこの池は、岡山県内の池・ダム湖の中で第1位の羽数を誇っています。環境省が野生動物の保護管理を目的に毎年行っている「全国一斉ガン・カモ調査」の調査地点に選ばれており、学術的にも決して壊してはならない貴重な環境であるといえます。



野鳥観察小屋

平成6年に笠岡市商工観光課により寺間遊水池の南側縁に「野鳥観察小屋」が設置されました。そのおかげで、笠岡市民だけでなく全国から多くの野鳥愛好家の方々が訪れて、水鳥たちの美しい姿を観察することができます。毎年、笠岡野鳥の会が周辺の草刈り等を行って、野鳥観察小屋の維持管理に努めています。



十一番町富岡遊水池

笠岡市はこれまで、市内の多くの池に水上太陽光パネルを設置しました。その中でも、町中にもかかわらず多くの水鳥を観察できた十一番町富岡遊水池では、このパネルの影響で水鳥の生息数が驚くほど激減しかつての賑わいは見る影もありません。



笠岡干拓地 の野鳥たち



1年を通じてたくさん
の野鳥と会
える笠岡干拓地。
広大な平原を車で
回りながら鳥を探
して、最後のお楽
しみに寺間遊水池で水鳥を観察
するのが定番のコースです。



バードウォッチャーのあこがれの旅鳥、
ヤツガシラ。笠岡干拓地では激レア。
令和4年冬に飛来し、近辺の野鳥愛好家の
間で大騒ぎとなりました。



羽を広げたときの白黒が鮮やかなケリ。カラス
や人など巣に近づく外敵には上空から急降下
して襲う気の強い性格です。



令和3年に13羽のナベヅルが笠岡干拓地で越冬し、遠方から多くの野鳥愛好家が集まりました。
中国北部やロシアで繁殖し、一度ツガイをつくると死ぬまで一緒にいることで知られています。



ノスリはトビより一回り小さい猛きん類。
ヘリヨプターのように空で止まって餌探し。



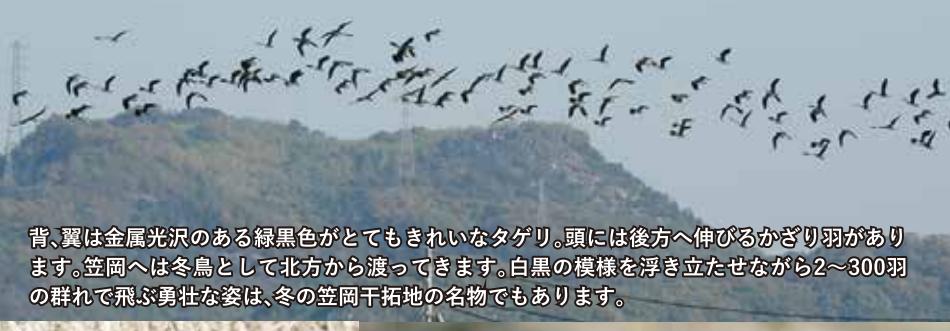
渋めのモノトーンとその名の通り長い尾羽が特徴のオナガガモ。
首の長さを活かして逆立ちして水底のエサを探す姿をよく見ます。



ミサゴは、主に魚を主食とする猛きん類です。空中をホバリングしながら、獲物を見つけると足を前に突き出して豪快にダイビング。



タゲリ



背、翼は金属光沢のある緑黒色がとてもきれいなタゲリ。頭には後方へ伸びるかざり羽があります。笠岡へは冬鳥として北方から渡ってきます。白黒の模様を浮き立たせながら2~300羽の群れで飛ぶ勇壮な姿は、冬の笠岡干拓地の名物でもあります。



カワイイ!!

ヒスのような美しい体色から飛ぶ宝石と呼ばれるカワセミ。淡水の池沼だけでなく、神島の海岸でも見かけます。



目の周りの黄色いリングが特徴のコチドリ。
全長は16cmですが、はるか遠距離を飛ぶ渡り鳥らしく翼を開くと44cmもあります。



最近は町中でも見るイソヒヨドリ。さえずりは柔らかな澄んだ声でかなりの美声。



翼を開けると3mの巨大な鳥、クロハゲワシ。県内では数例しか記録がなく、日本のタカ科の鳥の中では最大の鳥が、令和4年12月に笠岡干拓地にやってきました。



ハトほどの大きさですが、チョウエンボウはハヤブサと同じ猛きん類です。ホバリングをして小鳥やネズミを捕えます。



ピンク色の長い足と細長いくちばしが特徴の
セイタカシギ。水辺でまーるいカモの横にいると
そのしゃしゃな印象が際立つでいいです。



農業用地のスプリンクラーに
とまるノビタキ。飛んでいる虫
をフライングキャッチする姿は
とてもキュートです。



さえずりが馬のいななきに似ていること
からコマドリ(駒鳥)の名がつきました。
干拓ではかなりのレア鳥です。



日本の国鳥

日本の国鳥でありながら狩猟が許されているという不思議な鳥、キジ。ケンケーンと2回鳴いて2回目で羽音を出すのを母衣打ちといいます。



クロツラヘラサギは一時は全世界で300羽とされていましたが、現在では4400羽にまで回復しています。ヘラの形のくちばしを水中で左右に振りながら歩いてエサを捕る姿がとてもユニークです。